

同製品は世界で初めてハンドピース内に圧センサーを内蔵することによって白内障手術中にリアルタイムで眼圧の変動を検知し、灌流液の注入量を自動調整することで、手術中の眼圧を一定に維持し、安定性と安全性の高い白内障手術を実現することが可能になりました。



超音波乳化吸引後に起こる、眼内の容積変化※（模擬眼で検証）
(IOP 50mmHg; 吸引圧 500mmHg; 吸引流量; 40cc/min)

